

図書館で放課後自習ができます

司書が図書室にいないときの本の借り方

カウンター前に設置してある貸出簿に必要事項を記入してから本を持ち出してください。

図書館内に貸出の仕方を掲示してあります



『犬がいた季節』伊吹有喜

高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられ、以来、生徒とともに学校生活を送ってゆく昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、コーシローが見つめ続けた18歳の逡巡や決意を描く。

『お探し物は図書室まで』青山美智子

悩める人々が立ち寄る小さな図書室。そこには不愛想だけど聞き上手な謎の司書がいた。小町さんの思いもよらない選書と可愛い付録で悩める人たちの人生を後押しします。前向きになれる短編集。

『推し、燃ゆ』宇佐美りん

芸能人の真幸を“推し”しているあかり。推しを分析し推す気持ちをSNSに綴る日々。あるとき真幸が事件を起こす。世間からの非難の声をあびる真幸。それでもあかりは祈るように真幸を推し続けるのだった。

『オルタネート』加藤シゲアキ

高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。東京のとある高校を舞台に、若者たちの運命が、鮮やかに加速していく。恋とは、友情とは、家族とは。そして、人と“繋がる”とは何か。デジタルな世界と未分化な感情が織りなす物語の果てに、三人を待ち受ける未来とは。

本屋大賞・大賞作品

およびノミネート作品



『52 ヘルツのクジラたち』町田そのこ

52ヘルツのクジラとは他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く世界で一頭だけのクジラ。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる。

大賞受賞作

『自転しながら公転する』

山本文緒

東京で働いていた32歳の都は親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始める。恋愛、家族の世話、そのうえ仕事も…一人の女性が悩みながら成長していく物語。

『滅びの前のシャングリラ』凧良ゆう

「一ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる」—学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香。そして。

荒廃していく世界の中で、四人は生きる意味を見つけられるのか。人は人生の終わりが見えている中でどのような幸せを見つけるのか。

『この本を盗む者は。』

深緑野分

書物の蒐集家を曾祖父に持つ深冬。父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務める。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は、様々な本の世界を冒険していく。

『八月の銀の雪』伊予原新

コンビニのベトナム人店員グエンが、就活連敗中の理系大学生、堀川に見せた驚きの真の姿。『八月の銀の雪』。ほか4編を含む人知れず傷ついた心に希望の灯りをもす全5編の短編集。

